

第79期 決算のご報告

令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日



株式会社 **ナカノフード建設**

証券コード：1827

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに当社グループの第79期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）の事業環境、業績および当社の取組み等に関しましてご報告申し上げます。

当社グループは、第78期よりスタートいたしました中期経営計画「中計80」主要施策を推進し、生産性向上と働き方改革に取り組んでまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が停滞しており、企業の設備投資計画の見直しや延期等があり、今後も回復を見通すことができない状況であるため、「中計80」の目標値を修正するに至りました。

当社グループは、引き続き感染対策を徹底しながら、グループ総合力を発揮して、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

今後とも引き続き、ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

令和3年6月

取締役社長 竹谷紀之



当期業績概況

当連結会計年度の我が国経済は、昨年4月の新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の下、急減速しましたが、政府による総合経済対策の効果もあり、第2四半期から第3四半期にかけてはプラス成長し、回復していく動きがありました。しかしながら、本年1月に発令された2度目の緊急事態宣言を受け、経済活動は再び停滞傾向にあり、早期に元の水準に戻ることを期待しにくい状況でございます。

国内建設市場におきましては、政府建設投資は堅調に推移しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で民間の設備投資計画の見直しや先送りが発生して、非住宅建設投資が縮小し、また、東南アジア諸国においても経済活動が大きく後退するとともに、外出が制限され受注活動に制約があった国もあり、国内海外ともに厳しい受注環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、第78期よりスタートいたし

ました中期経営計画「中計80」の主要施策を推進し、国内リノベーション事業と官庁工事の受注拡大、ICT技術と工業化による生産性向上、海外での営業力と積算力の強化に努めるとともに、「働き方改革」にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当期の業績は以下のとおりとなりました。

当連結会計年度の建設受注高は、1,000億50百万円（前期比155億89百万円減）となりました。

売上高は、建設事業1,147億57百万円（前期比9億33百万円減）に不動産事業他12億88百万円（前期比2百万円増）をあわせ、1,160億46百万円（前期比9億31百万円減）となりました。

損益面におきましては、営業利益は16億22百万円（前期比24億81百万円減）、経常利益は18億18百万円（前期比25億76百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億69百万円（前期比25億63百万円減）となりました。

セグメント別概況

■建設事業

当社グループの受注高は、日本709億7百万円（前期比6億18百万円増）に、東南アジア291億43百万円（前期比162億8百万円減）をあわせ、1,000億50百万円（前期比155億89百万円減）となりました。

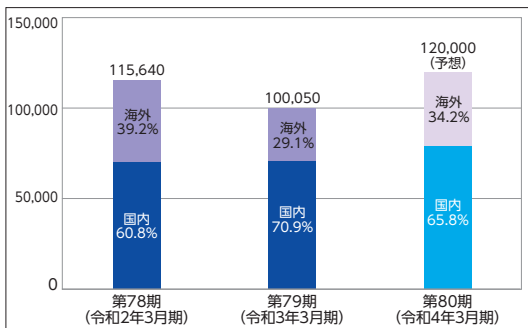
売上高は、日本785億57百万円（前期比10億53百万円増）に、東南アジア362億円（前期比19億86百万円減）をあわせ、1,147億57百万円（前期比9億33百万円減）となりました。また、日本と東南アジアをあわせた当期セグメント利益は9億1百万円（前期比25億33百万円減）となりました。

■不動産事業

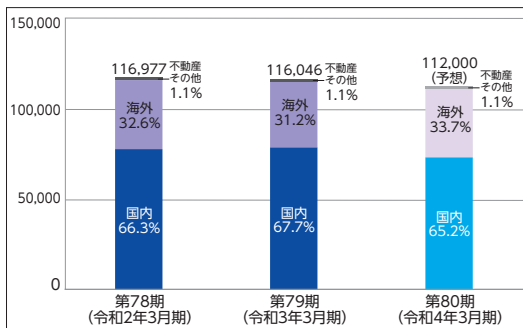
賃貸事業を中心とする不動産事業の売上高は、11億91百万円（前期比13百万円増）となりました。また、当期セグメント利益は6億98百万円（前期比62百万円増）となりました。

業績推移

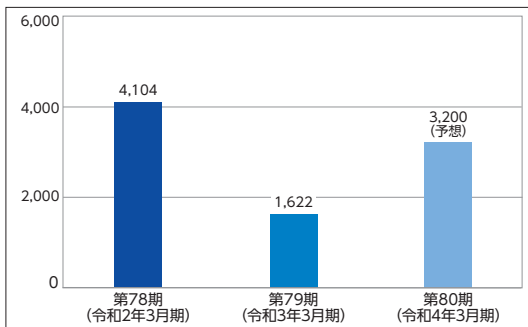
■連結受注高 (単位：百万円)



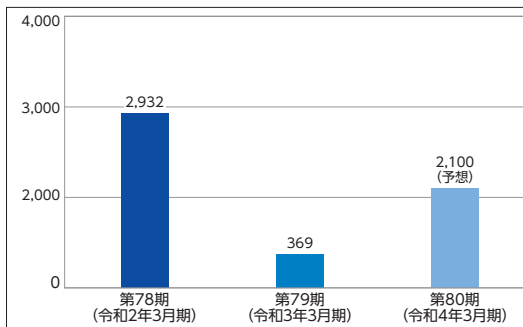
■連結売上高 (単位：百万円)



■連結営業利益 (単位：百万円)



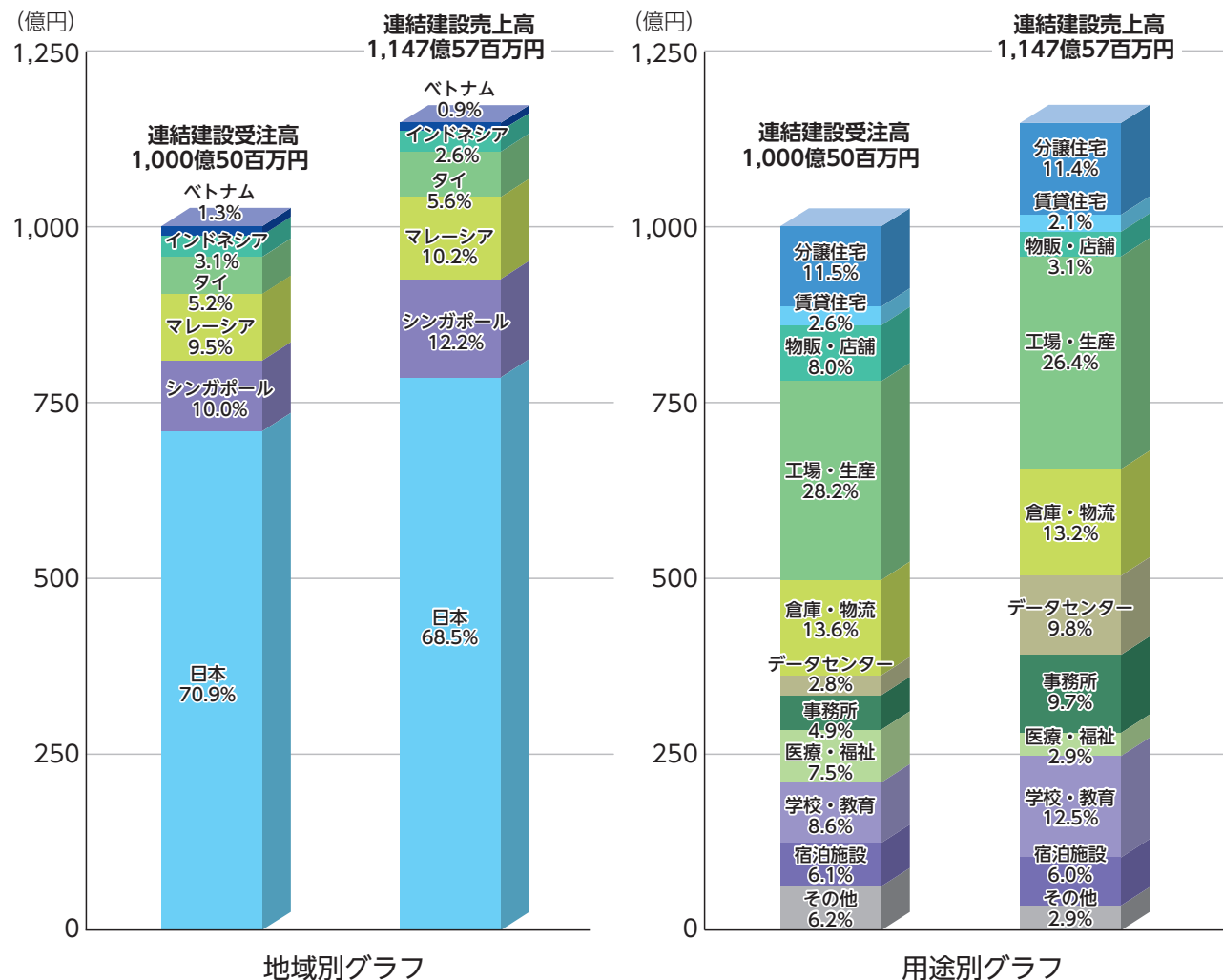
■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

建設事業概況

当事業年度における建設事業の内訳につきましては以下のとおりであります。
多様な用途の施工実績を背景とした技術力の高さをご評価いただいております。



経営方針

経営の基本方針

当社は「誠意と熱意と創意の三意を以て信頼におこたえし」、「社業の発展を通して社会に貢献する」ことを会社経営の基本理念とし、引き続きコンプライアンスを徹底した経営を堅持してまいります。また、第78期よりスタートいたしました中期経営計画「中計80」は、グループ総合力を発揮して、持続的成長戦略を推進するとともに、意識改革と技術革新により、生産性向上と働き方改革を実現させ、未来に向けた企業価値の向上を図ってまいります。

会社の対処すべき課題

当社グループを取り巻く今後の受注環境は、昨年の緊急事態宣言解除後、経済回復に期待が持てましたが、新型コロナウイルス感染症が再度拡大し、その収束と経済への影響については未だ不確実性が高く、国内海外ともに予断を許さない状況でございます。

このような状況のなか、当社グループは、今期が最終年度となる中期経営計画「中計80」の主要施策を確実に遂行するとともに、持続的成長戦略を推進するため、新たに営業本部および技術本部を設置し、営業力と技術力を強化していくことを明確にいたしました。

また、生産性向上と業務効率化のために、新設したDX推進室を中心として、これまで蓄積したデータや情報を新たなデジタル技術に結び付けて業務プロセスを変革させ、競争力の強化を一層図ってまいります。

国内建設事業におきましては、官庁工事への取組みを一層強化するとともに、リノベーション工事の受注拡大に取り組んでまいります。

海外建設事業におきましては、営業力と積算力の強化に取り組むとともに、工事の原価管理手法を更に改善し、利益向上に努めてまいります。

このコロナ禍の難局を乗り切り、持続的成長と企業価値を向上させるために、当社グループ従業員一丸となり全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも何卒倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画概要（2019年4月～2022年3月）

グループ総合力を発揮して、持続的成長戦略を推進すると共に、意識改革と技術革新により、生産性向上と働き方改革を実現させ、未来に向けた企業価値の向上を図る

基本方針

- ① 国内全店におけるリノベーション事業の拡大とICT活用推進
- ② 海外建設事業の営業力とコスト競争力の強化
- ③ 国内・海外拠点間の情報連携による受注増強
- ④ 国内外に於ける不動産賃貸事業の拡大
- ⑤ 生産性向上と働き方改革の実現
- ⑥ 財務体質の更なる強化と安定した株主還元

国内建設事業の基本方針

「量より質」の大方針を維持しつつ、成長戦略を推進。全店でのリノベーション工事と官庁工事への対応を強化し、国内建設事業の売上高を維持向上させると共に、ICT技術の活用を推進して生産性向上を図り、働き方改革を実現する。

経営目標（2022年3月期数値目標）

- | | |
|-------------|---------|
| ① 建設事業売上高合計 | 1,120億円 |
| ② 連結営業利益 | 32億円 |
| ③ 連結自己資本 | 370億円 |
| ④ 株主配当 | 14円以上 |

海外建設事業の基本方針

堅固な450億円体制を再構築し、次のステージで600億円体制を目指す為に、ローカル社員と共に、営業活動の強化とコスト競争力の向上により受注を増強し、工事利益の改善により収益力を強化する。

トピックス

■ナカノシンガポールが「EXCELLENCE」を2年連続受賞

ナカノシンガポールが2018年に施工した「クライテリオンエグゼクティブコンドミニアム」が、CONSTRUCTION EXCELLENCE AWARD 2020において、シンガポール建築建設庁（BCA）より、最高賞の「EXCELLENCE」を受賞しました。この賞は、品質・技術・安全衛生管理において最も高い評価を得たプロジェクトに授与されるもので、ナカノシンガポールは昨年の「リバーツリーレジデンス」に続く2年連続の受賞となりました。当社では今後も引き続き高品質な建物の供給に努めてまいります。



建物名称：クライテリオンエグゼクティブコンドミニアム
発注者：CDL Tid
設計：Consortium 168 Architects PTE.LTD.
構造：鉄筋コンクリート造
規模：地下1階、地上13階 全10棟
延床面積：55,255㎡
用途：住宅
場所：シンガポール

■SDGsに関連した取組み



ICT機器の積極的な活用



ドローンによる測量の実施

太陽光発電事業によるCO₂排出削減



ナカノフドー東松山メガソーラー

ダイバーシティの推進



女性社員と男性上司の合同研修会

■高校生現場見学会を開催

2020年10月28日、11月4日の日程で、一般社団法人東京建設業協会とともに、建設業の現場に触れることで建設業について深く考える機会を提供し、入職後のミスマッチをなくすことを目的として、当社作業所にて高校生見学会を開催いたしました。

今回、都立田無工業高校建築科の1年生と2年生にご参加いただき、2日で140名の参加となりました。

建物名称：中野東中学校等複合施設新設工事

発注者：東京都中野区

設計：株式会社安井建築設計事務所

構造：鉄骨造

規模：地上10階

延床面積：17,720㎡

用途：教育施設

場所：東京都中野区



施工実績紹介 (当期完成工事)

宿泊施設



ニッコースタイル名古屋

発注者：合同会社
サポート27号
設計者：株式会社
スピリッツ・オフィス
構造：鉄骨造
規模：地上13階
延床面積：9,546㎡
場所：愛知県名古屋市長

工場・生産施設



PT.OAJ カartonボックス・インドネシア工場

発注者：PT.オリエンタルアサヒJPカartonボックス
設計者：PT.インドナカノ
構造：鉄筋コンクリート造
規模：地上1階
延床面積：38,640㎡
場所：インドネシア

倉庫・工場



シャーラム・ビジネスパーク

発注者：ハブセンランドディベロップメント(プチャン)SDN.BHD.
設計者：ASIMA Architects SDN.BHD.
構造：鉄筋コンクリート造
規模：地下1階、地上3階～6階 10棟
延床面積：194,276㎡
場所：マレーシア

交通施設



T3 到着ロビー増築他

発注者：成田国際空港株式会社
設計者：当社
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
規模：地上3階
延床面積：5,450㎡
場所：千葉県成田市

医療施設



独立行政法人国立病院機構神奈川病院一般病棟等建替整備

発注者：独立行政法人国立病院機構神奈川病院
設計者：株式会社山田総合設計
構造：鉄骨造
規模：地上4階
延床面積：10,434㎡
場所：神奈川県秦野市

倉庫



シルバーオークレンタル倉庫

発注者：フレイザーズプロパティ(タイ)CO.,LTD.
設計者：CHUCHAWAL ROYAL HASKONING LTD.
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
規模：地上1階
延床面積：77,000㎡
場所：タイ

工場・生産施設



ハナキャンズ バリアブントウ工場倉庫

発注者：ハナキャンズJSC
設計者：ナカノベトナムCO.,LTD.
構造：鉄筋コンクリート造
規模：地上1階 2棟
延床面積：35,200㎡
場所：ベトナム

宿泊施設



京都東寺駅前開発プロジェクト

発注者：エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
設計者：株式会社大建設
構造：鉄骨造
規模：地下1階、地上8階
延床面積：5,931㎡
場所：京都府京都市

受注実績紹介

奈良支店社屋新築



関西電力グループの株式会社かんでんエンジニアリングが奈良県の拠点として計画した事務所です。同社の主な事業は電気設備工事であり、資機材の保管倉庫や工事用車両の保管場所としても利用されます。同じく関西電力グループの株式会社ニュージェックの設計により、細部にいたるまで洗練された外観となっています。

発注者 株式会社かんでんエンジニアリング
設計者 株式会社ニュージェック
竣工 2022年6月予定
構造 鉄骨造
規模 地上4階
延床面積 4,039㎡
場所 奈良県天理市

(仮称) 区画整理記念・交流会館建設



当施設は、大阪市にある「港地区復興土地区画整理記念事業」として今後の大阪市港区のまちづくりに貢献し、隣接する大阪みなと中央病院（地域医療機能推進機構）を共同事業者とした、地域医療・災害時医療の拠点機能の形成を目指す施設として建設されます。施設内容は公共施設として多目的ホール・図書館・交流スペース等を整備し、建物3階部分を大阪メトロ弁天町駅と直結させる計画となっています。

発注者 大阪府大阪市
設計者 株式会社大建設計
竣工 2023年3月予定
構造 鉄骨造
規模 地上9階
延床面積 8,431㎡
場所 大阪府大阪市

シンガポールインタナショナルスクールバンコクトンブリ校第2期



シンガポールインタナショナルスクールは、タイに5つのキャンパスを持っており、トンブリ校は、2017年(第1期)に幼稚園、小学校が開校し、2021年8月(第2期)に中学校がオープン予定です。

最新の設備(省エネ、環境、太陽光、換気)が整ったモダンな教室とエコフレンドリーで光と緑あふれる空間を生む階段状にカーブした外観デザインが特徴です。

発注者 エスアイエスピーパブリックCO.,LTD.

設計者 PLAN ARCHITECTCO.,LTD.

竣工 2021年6月予定

構造 鉄筋コンクリート造

規模 地上3階 2棟

延床面積 13,176㎡

場所 タイ

ワンノースエデン新築



ワンノースエデンは、シンガポール中心部に位置するバイオメディカルサイエンス、情報通信技術、物理学等の公的研究機関および多国籍企業等が拠点を構えるビジネスパーク内に建設される、コンドミニアムです。全165戸のプロジェクトで1階に店舗、レストランスペースを有しています。地下鉄駅から徒歩5分と恵まれた立地条件にあります。

発注者 ワンノースディベロップメントPTE.LTD.

設計者 P&T Consultants PTE.LTD.

竣工 2024年2月予定

構造 鉄筋コンクリート造

規模 地下1階、地上13階および15階 2棟

延床面積 15,522㎡

場所 シンガポール

連結決算概要

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(令和3年3月31日現在)	(令和2年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	62,875	61,091
固定資産	21,591	20,257
有形固定資産	15,978	15,853
無形固定資産	1,052	996
投資その他の資産	4,560	3,407
資産合計	84,467	81,349
(負債の部)		
流動負債	44,563	43,241
固定負債	2,585	2,576
負債合計	47,149	45,817
(純資産の部)		
株主資本	35,248	35,360
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	28,821	28,933
自己株式	△34	△34
その他の包括利益累計額	638	△1,111
その他有価証券評価差額金	962	597
為替換算調整勘定	△747	△1,575
退職給付に係る調整累計額	424	△133
非支配株主持分	1,430	1,282
純資産合計	37,318	35,532
負債純資産合計	84,467	81,349

連結損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
売上高	116,046	116,977
完成工事高	114,757	115,691
不動産事業等売上高	1,288	1,286
売上原価	108,707	107,276
完成工事原価	108,262	106,787
不動産事業等売上原価	445	488
売上総利益	7,338	9,701
完成工事総利益	6,494	8,903
不動産事業等総利益	843	797
販売費及び一般管理費	5,715	5,596
営業利益	1,622	4,104
営業外収益	253	368
営業外費用	57	77
経常利益	1,818	4,395
特別利益	475	34
特別損失	749	250
税金等調整前当期純利益	1,545	4,178
法人税、住民税及び事業税	1,069	1,153
法人税等調整額	38	54
当期純利益	436	2,971
非支配株主に帰属する当期純利益	67	38
親会社株主に帰属する当期純利益	369	2,932

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,544	△6,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	89	△555
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,057	△1,821
現金及び現金同等物に係る換算差額	659	△813
現金及び現金同等物の増減額	261	△9,988
現金及び現金同等物の期首残高	21,612	31,600
現金及び現金同等物の期末残高	21,874	21,612

連結株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
令和2年4月1日残高	5,061	1,400	28,933	△34	35,360	597	△1,575	△133	△1,111	1,282	35,532
当期変動額											
剰余金の配当			△481		△481						△481
親会社株主に帰属する当期純利益			369		369						369
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						364	827	557	1,750	147	1,898
当期変動額合計	—	—	△111	△0	△112	364	827	557	1,750	147	1,785
令和3年3月31日残高	5,061	1,400	28,821	△34	35,248	962	△747	424	638	1,430	37,318

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別決算概要

貸借対照表 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(令和3年3月31日現在)	(令和2年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	38,814	37,743
固定資産	20,422	20,034
有形固定資産	15,124	15,022
無形固定資産	189	194
投資その他の資産	5,109	4,817
資産合計	59,237	57,778
(負債の部)		
流動負債	32,167	32,492
固定負債	1,674	2,008
負債合計	33,841	34,500
(純資産の部)		
株主資本	24,586	22,775
資本金	5,061	5,061
資本剰余金	1,400	1,400
利益剰余金	18,159	16,347
自己株式	△34	△34
評価・換算差額等	808	502
その他有価証券評価差額金	808	502
純資産合計	25,395	23,277
負債純資産合計	59,237	57,778

損益計算書 (単位: 百万円)

項目	当期	前期
	(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)	(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)
売上高	79,741	78,667
完成工事高	78,557	77,504
不動産事業等売上高	1,184	1,163
売上原価	71,990	70,899
完成工事原価	71,529	70,399
不動産事業等売上原価	460	500
売上総利益	7,751	7,768
完成工事総利益	7,027	7,105
不動産事業等総利益	723	662
販売費及び一般管理費	4,393	4,343
営業利益	3,357	3,424
営業外収益	108	101
営業外費用	52	67
経常利益	3,413	3,458
特別利益	1	17
特別損失	33	137
税引前当期純利益	3,380	3,339
法人税、住民税及び事業税	1,156	933
法人税等調整額	△69	162
当期純利益	2,292	2,243

株主資本等変動計算書 (単位: 百万円)

当期 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純 資 産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計		
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金				
令和2年4月1日残高	5,061	1,400	16,347	△34	22,775	502	23,277
当期変動額							
剰余金の配当			△481		△481		△481
当期純利益			2,292		2,292		2,292
自己株式の取得				△0	△0		△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)						306	306
当期変動額合計	—	—	1,811	△0	1,810	306	2,117
令和3年3月31日残高	5,061	1,400	18,159	△34	24,586	808	25,395

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (令和3年6月29日現在)

商号	株式会社ナカノフドー建設
創業	昭和8年2月8日
設立	昭和17年12月19日
資本金	50億6,167万8,686円
従業員数	1,336名(連結) 729名(個別) (令和3年3月31日現在)
主要な事業内容	当社グループは、建設事業および不動産事業を主な内容として事業活動を展開しております。

主要な事業所

国内

本店	(東京都千代田区五番町4番地7)
本社	(東京都新宿区市谷本村町1番1号)
土木部	(東京都新宿区)
東京本店	(東京都千代田区)
東北支社	(仙台市)
名古屋支社	(名古屋市)
大阪支社	(大阪市)
九州支社	(福岡市)
台東支店	(東京都台東区)
北海道支店	(札幌市)
北東北支店	(八戸市)
東関東支店	(千葉市)
北関東支店	(さいたま市)
横浜支店	(横浜市)

主要な子会社

会社名

事業内容

国内

中野開発株式会社(東京都千代田区)	不動産事業・その他の事業
-------------------	--------------

海外

ナカノシンガポール (PTE.) LTD. (シンガポール)	建設事業
ナカノコンストラクションSDN.BHD. (マレーシア)	建設事業・不動産事業
PT.インドナカノ (インドネシア)	建設事業
タイナカノCO.,LTD. (タイ)	建設事業
ナカノベトナムCO.,LTD. (ベトナム)	建設事業

取締役および監査役

取締役名誉会長	大島 義和
代表取締役社長	竹谷 紀之
取締役	加藤 頼宣
取締役	棚田 弘幸
取締役	飯塚 隆
取締役	大島 義信
取締役(社外)	河村 守康
取締役(社外)	福田 誠
取締役(社外)	小高 光晴
常勤監査役	中野 功一郎
常勤監査役	佐藤 哲夫
監査役(社外)	山谷 耕平
監査役(社外)	関澤 秀哲

執行役員

取締役 専務執行役員	加藤 頼宣	経理部担当
取締役 常務執行役員	棚田 弘幸	技術本部長
取締役 常務執行役員	飯塚 隆	営業本部長
取締役 執行役員	大島 義信	社長室長
常務執行役員	小古山 昇	総務部長
常務執行役員	赤坂 頼義	東北支社長
常務執行役員	吉村 哲志	大阪支社長
執行役員	村松 正秀	海外事業本部長 兼 営業部長
執行役員	石渡 一徳	東京本店長
執行役員	三浦 利夫	九州支社長
執行役員	沓沢 陽一	ナカノシンガポール (PTE.) LTD.社長
執行役員	朴 功	名古屋支社長
執行役員	後藤 俊二	東京本店 副本店長

株式状況 (令和3年3月31日現在)

株式状況

■発行可能株式総数 154,792,300株

■発行済株式の総数 34,498,097株

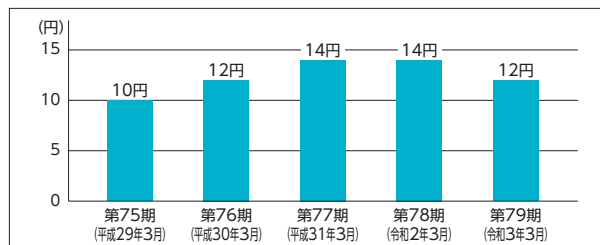
■株主数 4,174名

■大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人大島育英会	6,756	19.66
関東興業株式会社	4,250	12.37
大島義和	3,087	8.98
株式会社マリンドリーム	2,100	6.11
株式会社MBサービス	1,750	5.09
株式会社三菱UFJ銀行	1,647	4.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,168	3.40
ナカノ友愛会投資会	738	2.15
LGT BANK AG A/C M.S.	736	2.14
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	636	1.85

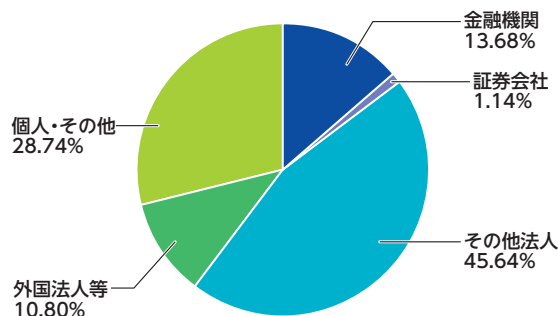
(注) 上記持株比率は、自己株式 (129,465株) を控除して計算しております。

■配当の状況



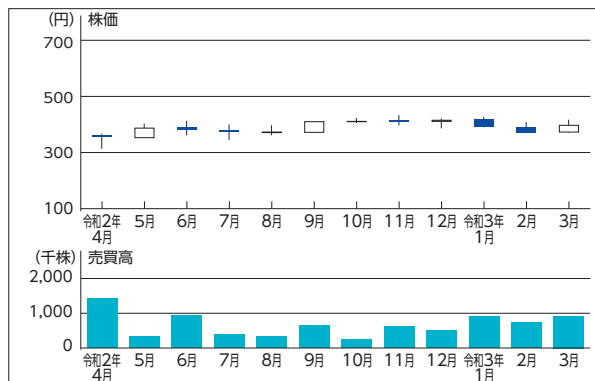
株式分布状況

所有者別分布状況



株式数	株数
金融機関	4,719千株
証券会社	392千株
その他法人	15,744千株
外国法人等	3,726千株
個人・その他	9,915千株

株価推移



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 毎年3月31日
そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。
なお、中間配当制度は採用しておりません。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- (連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電 話 0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告
による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞
に掲載して行います。

<表紙写真>

順天堂大学さくらキャンパス講義棟 (千葉県印西市)
竣 工 : 2021年
設計者 : 株式会社日本設計
用 途 : 教育施設

株式会社 **ナカノフドー建設**

(仮移転先)

本社 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1番1号
TEL 03(6774)8581

ご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、さまざまな情報を公開しておりますので、是非ご覧ください。



<https://www.wave-nakano.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本報告書は植物油インクで印刷しております。
ご不要の際は、ハリをはずし資源ゴミへ。